

県本部通信

4

2019 April
No.204

Monthly Zen-noh Gunma



Contents

事業のうごき	2
全農群馬県本部 組織機構図	3
3か年計画 (平成31～33年度)ならびに 平成31年度事業計画	4～5
インフォメーション	6～7
アートクッキング	裏表紙
花木流通センター便り	裏表紙

前橋公園 前橋市大手町

前橋公園の歴史は古く、明治38年の日露戦争記念を兼ねて市内最初の公園として建設されました。昭和34年には、当時の皇太子御成婚記念として、上毛かるたで有名な「鶴舞う形の群馬県」をかたどった「さちの池」が作られました。園内には、芝生公園や中央児童遊園(るなばあく)などもあり、市民の憩いの場として多くの方々に親しまれています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践と
目標達成に向けた取組支援
- 担い手の経営強化のための経営管理支援
- JA営農経済部門の人材育成支援
- TAC活動等JAの出向く体制強化支援
- 大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

▶米麦特産課

- 平成30年産民間流通麦引取推進
- 平成32年産民間流通麦生産計画推進
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- きのこ種菌当用推進

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

▶販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

▶園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進

(枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草等)

- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 果樹袋当用推進(りんご・ぶどう・なし・もも等)
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 夏用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし等)
- セル苗の予約推進(トマト・ナス等)

生産資材部

▶花木流通センター

- 4月12日(金)～15日(月) 春の菜園フェア
- 4月20日(土)・21日(日) 菜園応援フェア
- 4月27日(土)～5月6日(月・祝)
GW菜園フェア

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

生活部

▶生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 平成31年度新茶推進 (4月～6月)

▶葬祭総合課

- 会員獲得推進の実施

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進(周年)

自動車燃料部

▶石油課

- オイルキャンペーン (2月～5月)
- 春期タイヤキャンペーン (3月～5月)

▶ガス課

- 平成31年度春の厨房機器推進 (4月～6月)
- 平成31年度ガス器具推進 (4月～12月)

ご挨拶

平成31年度のスタートにあたり、ご挨拶申し上げます。

群馬県農業の動向は、新規就農者数や法人経営耕地面積が増加する一方、総農家数や農業就業人口の減少・高齢化がすすみ、耕作放棄地も増加しています。平成29年度群馬県農業産出額は、野菜価格の低下等により前年比3.1%減の2,550億円で、都道府県別順位は10位から11位に後退しました。TPP11や日EU・EPAによる群馬県農業への影響についても、それぞれ27.9億円、18.1億円減少すると試算されています。

また、豚コレラや高病原性鳥インフルエンザなど広域的な家畜伝染病や、台風や地震など大規模自然災害への対策も喫緊の課題となっています。

係る状況のなか、全農では、31年度をスタートとする3か年計画において、「すべては組合員のために、そして消費者・国民のために」という基本姿勢のもと、引き続き自己改革の取り組みを加速するとともに、急速に変化する生産・流通・消費構造や海外情勢に対応するため、5年後、10年後を見据えた取り組みを展開してまいります。

群馬県本部はこれをふまえ、将来を見据えて取り組むべき施策として、販売事業では、直接販売や予約相対取



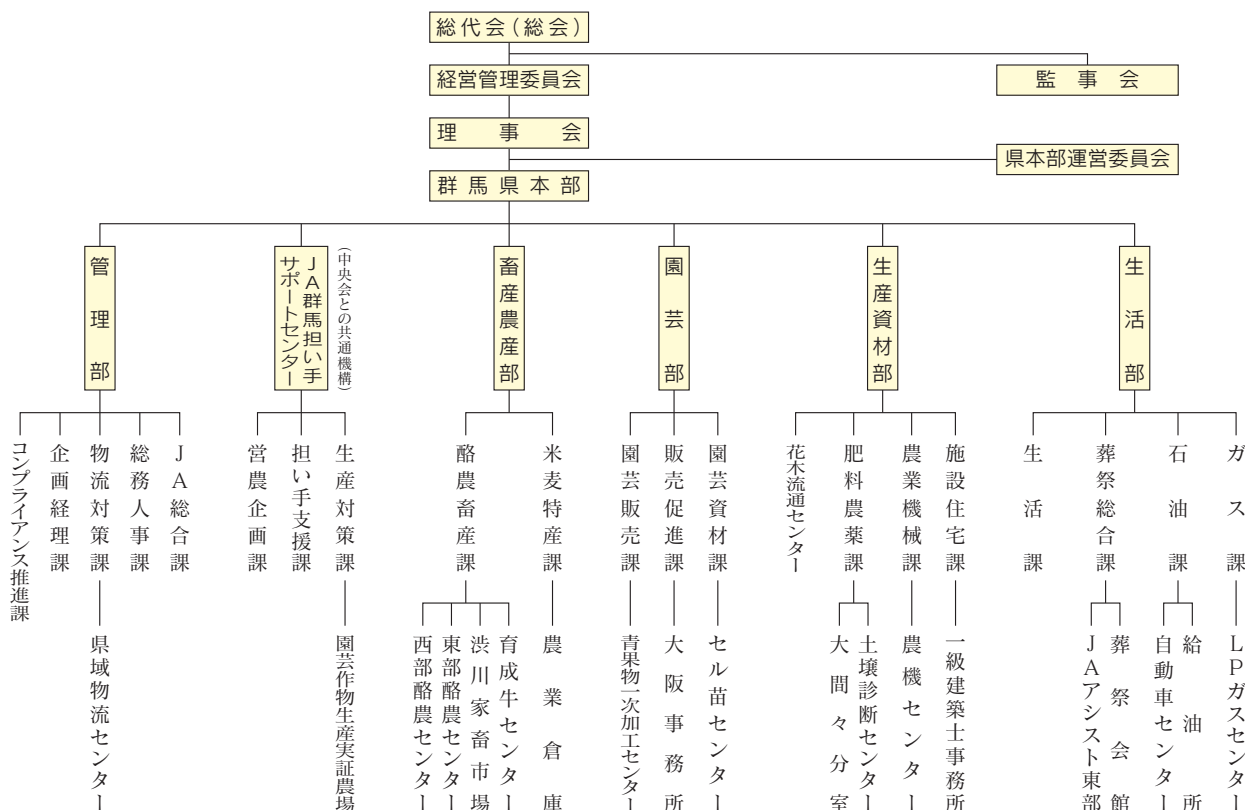
全国農業協同組合連合会群馬県本部
県本部長 伊藤 雅美

引を拡大し、生産者所得の安定化と最大化に取り組むとともに、JAと一体となった販売推進により系統共販率の拡大をはかります。購買事業では、生産トータルコストの低減および新たな栽培技術の活用・普及を通じた生産性向上をはかります。加えて、JA経営基盤確立・強化のため、中央会・連合会と連携してJA支援に取り組みます。

今後3か年は、政府がすすめる「農協改革」が大きな節目を迎える重要な期間となります。会員JA・組合員の負託に応えるためにも、自己改革の実践を通じて農業者の所得増大をはかるとともに、生産基盤の維持・拡大に取り組めます。

◆平成31年度 全農群馬県本部 組織機構図

平成31年4月1日現在



JA全農ぐんま 3か年計画(平成31~33年度)ならびに平成31年度事業計画のあらまし



情勢認識

1. 農業動向

県内の総農家数や農業就業人口の減少・高齢化がすすむ一方、新規就農者数は増加基調。耕地面積は耕作放棄地が増加しているが、法人経営の増加により1経営体あたりの経営耕地面積は増加。平成29年度農業算出額は、野菜価格の低下等により前年比3.1%減の2,550億円で、都道府県別順位は10位から11位に後退。

2. 人口構成

群馬県の人口は将来にわたって減少し続けると予測。また、現役世代(15~64歳)や子供の数が大幅に減少する一方、高齢者は平成52年(2040)年まで増え続ける見込み。人口減少と人口構成の変化は、消費活動はもとより人手不足など企業活動に大きな影響を及ぼすと予想。

3. JAグループを取り巻く環境

信用・共済事業の将来収益の縮小による経営収支の悪化が強く懸念される。このため第41回JA群馬県大会議案において「JA経営基盤強化」を新たな柱として掲げ継続的に自己改革を実践するため、営農・経済事業の収益力向上・経営基盤強化への取り組みが決議された。

環境変化に迅速かつ円滑に対応

重点実施策

今次3か年計画では、①農業所得の増大 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化の3つを基本目標に、引き続き自己改革の取り組みを加速していくとともに、急速に変化する生産・流通・消費構造に対応するため、将来を見据えて取り組むべき重点実施具体策を実践します。

1. 販売事業

園芸事業では直販取引先、全農青果センターおよび重点卸売市場を軸とした直接販売や予約相対取引を拡大します。また、酪農事業では更なる集送乳合理化と県内組織再編による酪農家所得増大をすすめます。米麦事業では、米の集荷・販売力強化、全量播種前契約による麦の安定取引に取り組みます。

2. 購買事業

JAグループのスケールメリットによる肥料・農薬の銘柄・規格集約や、低コスト資材の普及・取扱拡大に取り組みます。また、地域のくらしの支援に向けた基幹フルSSのセルフ化などマスタープランの実践に取り組みます。

3. 営農事業

地域農業振興を図るため、JA農畜産物の生産販売計画の実践と目標達成に向けた支援、JAの人材育成に取り組みます。また、TAC活動などJAの出向く体制強化を支援します

4. JA支援

JAが将来にわたって持続可能な経営基盤を確立するため、中央会・連合会と連携してJA支援に取り組みます。

事業別具体策 (県本部取扱高1,411億円) ※金額は平成31年度計画

JA群馬担い手サポート事業

- 営農企画事業では地域農業振興を図るため、JA農畜産物の生産販売計画の実践と目標達成に向けた取り組みを支援します。
- 担い手支援事業では大規模農家・法人等の担い手ニーズに対応するため、TAC活動などJAの出向く体制強化を支援します。
- 生産対策事業では県内主力作物の収穫拡大に向け、園芸作物生産実証農場において環境制御技術などを実証し普及します。

畜産農産事業(170億円)

- 酪農畜産事業では農家所得増大のため、育成牛センターでの生産基盤維持拡大対策や生乳事業の更なる合理化を検討します。
- 米麦大豆事業では実需者ニーズに基づいた米の買取や麦の全量播種前契約締結による生産と供給の安定に取り組みます。
- 特産事業ではこんにゃくの年間平均販売による有利販売を実施するため、荒粉・精粉の加工を推進します。

園芸事業(804億円)

- 園芸販売事業では実需者ニーズに基づく生産提案や青果物一次加工事業などを通じ、販売力強化に取り組みます。また、直接販売拡大に向けた各種販売取組を通じ、需要に即した販売力強化と系統販売基盤の維持拡大に取り組みます。
- 販売促進事業では量販店、実需者等への営業を強化し、Gルート販売の拡充、消費宣伝活用等により販売強化に取り組みます。
- 園芸資材事業では消費地需要に合った新商品の提案や施設園芸の高品質・高収量化技術を提案・普及します。

生産資材事業(160億円)

- 花木事業では新鮮で安全・安心な農畜産物を消費者へ届けるため産直店舗の取扱を拡大、新規商品・新事業形態を充実します。
- 肥料農薬事業では担い手対策・施肥コスト抑制銘柄の推進・銘柄集約の取り組み等により生産資材コストを低減します。
- 農業機械事業では低価格モデル農機の共同購入の実施や野菜作機械レンタルなど共同利用の取り組みを拡大します。
- 施設住宅事業では施主代行の計画・設計・施工管理による総合機能を発揮し低コストで合理的な施設建設に取り組みます。

生活事業(276億円)

- 生活事業では組合員・消費者のニーズに適応した生活関連商品を提供します。
- 葬祭事業では地域のニーズに合わせた安置施設の建設やホールリフォームなど基盤強化に向けた体制を整備します。
- 石油事業では基幹フルSSのセルフ化や営農用燃料の配送拠点の集約・効率化に取り組みます。
- LPガス事業ではホームエネルギーの提案・保安対策の強化や小売・卸事業が一体となった事業体制整備に取り組みます。

園芸担当初任者研修会



2月21日(木)、県内JAの園芸業務経験が浅い園芸担当者を対象とした「平成30年度 園芸担当初任者研修会」が園芸販売課の主催で開催され、17人が出席しました。研修会では、青果物流通の概要や本会の青果物販売や生産振興の取り組みなどについての講習後、園芸作物生産実証農場のきゅうりの生育状況や青果物一次加工センターの業務向けキャベツの半割芯取りの様子を視察しました。参加者は説明を聞きながら、熱心に見入っていました。

冬春トマト販売対策会議



2月25日(月)、園芸販売課は「冬春トマト販売対策会議」を開催し、産地のJA担当者及び市場関係者ら25人が出席しました。近年の冬春トマトの価格低迷を受け、JA及び市場担当者を参集し、最盛期に向けた販売対策と有利販売に向けた協議を行いました。JAや市場関係者と一丸となって、卸売会社を通じたパートナー店への販売協力要請や積極的な販売促進活動に取り組み、トマトの消費宣伝に努めてまいります。

農機事業経営委員会



2月21日(木)、農業機械課は「平成30年度 群馬県農機事業経営委員会」を開催し、大澤会長をはじめ、県内JA組合長・理事長及び当県本部関係役職員が出席しました。

本経営委員会は、平成20年の「農機協同事業体」発足以来11回目となります。当日は「平成30年度事業報告」・「平成31年度事業計画」・「覚書の締結」・「役員の選任」についての協議が行われ、全て可決承認されました。

肉用牛合同研修会



3月1日(金)、(公社)群馬県畜産協会・(一社)家畜改良事業団前橋種雄牛センター・各種協議会・当県本部共催の「平成30年度 肉用牛合同研修会」が開催され、生産者やJAの畜産担当者約250人が参加しました。第1部では各団体による事業・情勢報告等が行われました。続いて第2部は、ジャパンカーフクリニックの矢田谷健医院長が、「子牛の飼養管理のポイント」、第3部では、(株)微生物化学研究所テクニカルアドバイザーの岡章生氏が「黒毛和種肥育牛の生産現場における飼養管理上の問題点とその対策」についての講演が行われました。

親子で作ろう サンドイッチ教室



3月2日(土)、花木流通センターで「親子で作ろう！サンドイッチ教室」が開催され、10組の親子が参加しました。手作りパン工場の荒井チーフが親子に県内産いちごを使用した季節のフルーツサンドとお花のチョコパイの作り方を説明。子供たちはお母さんやお父さんにサポートしてもらいながら、楽しそうにサンドとパイを完成させました。完成したサンドを食べた子供は、「自分で作ったサンドは、特別おいしく感じる！」と言って頬張っていました。

JAグループ国産農畜産物商談会



3月12日(火)・13日(水)の2日間、東京国際フォーラムにおいて「第13回 JAグループ国産農畜産物商談会」が開催されました。今回 JAグループ群馬からは、JA前橋市と JA佐波伊勢崎、群馬県食肉品質向上対策協議会が出展。JAたかさき・JAはぐくみ・JAたの

ふじは高崎市のブランド「高崎そだち」として参加し、JA上野村も出展しました。各JAの農畜産物加工品をはじめ、当県本部青果物一次加工センターの半割芯取りキャベツなど自慢の商品を用意し、その魅力を積極的にPRしました。

石油事業一体化経営委員会



3月13日(水)、県内JA組合長・理事長及び当県本部の関係役職員参集のもと、「平成30年度 石油事業一体化経営委員会」が開催されました。会場では、「平成30年度事業報告」・「平成31年度事業計画」・「覚書の締結」・「平成31年度役員体制」・「石油事業一体化経営委員会規約の改定」についての協議が行われ、全て可決承認されました。

組合員のみさまへ

新米

玉翠 1kg(167gx6束)
白楽 1kg(167gx6束)
紫鳳 1kg(167gx6束)

この新米は、先-水-変換を通しません。しかも真空パック、密封方式を完備していますので、開封されるまでお米の風味を保ちます。

【お問合せ先】JA全農ぐんま 生活課
TEL: 027-220-2351 FAX: 027-220-2324

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は
変更となることがあります。

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
県内一！まいたけ・チンゲン菜(仮)／JAたかさき	4月15日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月21日(日)	AM 8:00～ 8:30
もうすぐ10連休！ 旬を探しに出かけよう(仮)／JA群馬中央会	4月22日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※4月28日(日)	AM 8:00～ 8:30
魅力満載！春の花木流通センター／JA全農ぐんま	4月29日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※5月5日(日)	AM 8:00～ 8:30



能登 瑤子アナ

鶏胸肉とひよこ豆の黒ビール煮



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分

(1人分539kcal)

鶏胸肉 …… 2枚
塩・コショウ …… 各少量
小麦粉 …… 大さじ1弱
オリーブオイル …… 大さじ1
黒ビール …… 150cc
水 …… 250cc
コンソメ …… 1個
醤油 …… 大さじ1弱
黒砂糖 …… 大さじ1強

みりん …… 大さじ1
ひよこ豆水煮 …… 230g
ハチミツ …… 小さじ1強
ミニトマト …… 2個
パセリみじん …… 少量
キャベツ …… 小1/2個
(オリーブオイル・
レモン汁・塩・
コショウ …… 各適量)

作り方

- 1 鶏肉に軽く塩・コショウし小麦粉をまぶす。
- 2 フライパンにオリーブオイルを入れて熱し、1の鶏肉の両面をきつね色に焼く。
- 3 鍋にビール・水・コンソメ・醤油・黒砂糖・みりんを入れ、鶏肉を加え中火で落とし蓋をして煮る。
- 4 汁気が少し少なくなったら、ひよこ豆とハチミツを加え、弱火で煮込む。
- 5 ミニトマトはみじん切りする。キャベツは4等分櫛形に切り、グリル(中火)で3～4分焼く。
- 6 4の鶏肉をそぎ切りにしてお皿に盛り、ひよこ豆を付け合せ、焼きキャベツを添える。鶏肉の上にタレをかけ、ミニトマト・パセリを散らし、キャベツにオリーブオイル・レモン汁・塩・コショウを適量かける。

花木流通センター イベント情報

開催日	フェア etc
4月12日(金)～15日(月)	春の菜園フェア
4月20日(土)・21日(日)	菜園応援フェア
4月27日(土)～5月6日(月・祝)	GW菜園フェア

開催日	講習会 etc
4月6日(土)	バラ仕立て方講習会
4月7日(日)	栽培講習会「なす・きゅうり・トマトの定植」「里芋・生姜」 管理機取扱講習会
4月14日(日)	栽培講習会「なす・きゅうり・トマトの定植」「里芋・生姜」
4月17日(水) ・21日(日)・25日(木)	栽培講習会「なす・きゅうり・トマトの定植」
4月18日(木)	寄せ植え講習会 お花と野菜を使ったブーケ(ランチプレート付)
4月19日(金)	洋ラン植え替え講習会
4月20日(土)	「クッキングサポート」食肉卸売市場 試食販売



KABOKU
花 木 流 通 セ ン タ ー

みのもり館
新鮮ぐんま

営業時間 9:00～18:00 6月～2月 毎週火曜日定休



花木流通センターでは、いよいよ毎年恒例国府の果菜苗の販売が開始いたします。

伝統の品種はもちろんのこと、毎年新品種も販売しています。定番の果菜苗をご購入いただくとともに、新しい品種にも手を伸ばしていただき、味の違い、収量の違いなどを実感してください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

一取扱品目一

□園芸資材館/営農・園芸資材等 □ふらわーらんど/鉢花、花苗等 □JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 □エクステージ/外構・造園工事等 □新鮮ぐんまのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等 □外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

「県本部通信」における個人情報の取扱いについて

「県本部通信」に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。